

東公民館回覧板【7月号】

発行日：令和3年7月22日

お誘いカレンダー

○おしゃれな料理教室



6月23日に行なわれたおしゃれな料理教室では、内田すみ江先生のご指導のもと、リッチな食パン、チキン南蛮風、シュークリームを作りました。

食パンはバターや生クリームを使い、風味豊かな食パンになりました。生地づくりでは、丁度良い固さになるまでこねることが難しかったです。生地が柔らかい方が、もちり柔らかい食感の食パンになります。

チキン南蛮風は、人参や玉ねぎを入れた漬けだれが美味しく、チキンも粉と卵を衣としてつけて揚げるとジューシーで、おかずにぴったりな一品になりました。

シュークリームは、生地づくりやカスタードクリーム作りを丁寧に教えてもらい、上手にできたので、歓声が上がりました。

丁寧に料理する楽しさを味わいました。出来上がった料理は、家に持ち帰って食べて頂きました。



○SDGsってなんだろう②

6月30日に第2回「SDGsってなんだろう」の市民講座がありました。講座では、佐久市在住の小池清志さんにSDGsを実践しているお話を聞き、ご自宅のエコ住宅を見学させていただきました。小池さんは19年前から、食べ物・エネルギーの自給自足100%に挑戦しています。150品目の穀物・野菜・豆類・果物を有機栽培し、現在の自給率は95%だそうです。味噌や醤油を作り、ニワトリや鮎も飼っています。



エネルギーは太陽光・風力・水力発電をし、二酸化炭素を出さない生活を送っています。雨水の再利用もしていて、トイレの洗浄水や植木・野菜の散水などに使い、災害時のライフライン断絶時に活用できるそうです。

直射日光を遮り温度を下げるための、アサガオとゴーヤの緑のカーテンが元気に育っ

ていました。緑のカーテンの外側と内側では温度差が、晴れた日は13度もあり、緑のカーテンの凄さが分かりました。

そして、小池さんはこのような取り組みを小学生や中学生にも伝える活動も行っています。

私たちにすぐできるSDGsの取り組みは、皆が1日2リットルの節水をするのも一つだそうです。難しいことですが、価値ある挑戦だと思いました。

小池さんのお話と実践に、多くのことを学ばせて頂きました。



○キッズヘアアレンジ

7月3日（土）に美容師の熊谷亜希子さんをお招きして「キッズヘアアレンジ教室」を開講しました。浴衣や夏のおしゃれにぴったりのヘアアレンジを習いました。

ピンやゴムの専門的な説明を聞いた後、自分がやってみたい髪形を決めて、ヘアアレンジに挑戦しました。髪の毛の癖や量がそれぞれ違うので、お母さん方は初め大変そうでしたが、講師の先生による個別の指導があり、皆さん、髪形が決まり大満足でした。

後ろの髪を上半分ほど、ゴムで縛り、くるっと上に回して縛った髪に入れて出します。これが基本で、これから色々な髪形ができます。前髪の切り方は縦にハサミをいれます。



ヘアアイロンを使って毛先を遊ばせましょう。軽い感じになります。髪の毛が多い時は少しずつ巻いていきましょう。

髪形が決まってくると子どもたちの表情が輝いてきて素敵でした。お母さんに髪をアレンジしてもらい嬉しそうな子どもたち。温かい親子のふれあいの時間になりました。先生の熱心なご指導に感謝します。



○渋沢栄一と佐久

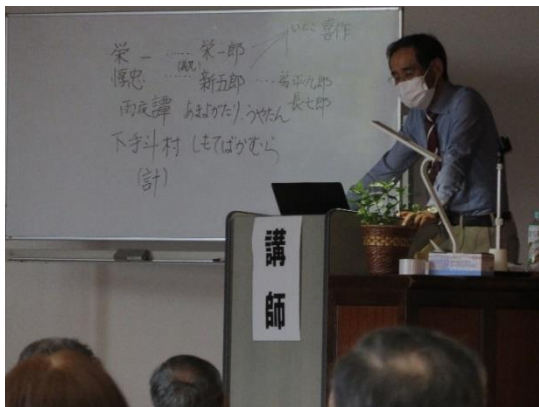
7月5日（月）には野沢・中込・東公民館合同講座が開催され、臼田文化センターの上原美次先生に「渋沢栄一と佐久～その足跡を探る～」というテーマで講演をしていただきました。

受講者は定員の80名の皆さんにお集まりいただき、大盛況でした。

上原先生は、いろいろな場所に行き、多くの人に会い、渋沢栄一の佐久での足跡を古文書から探られたそうです。その話から栄一が佐久を第二の故郷と言った理由が分かってきました。

栄一は、14歳から22歳頃まで武州血洗島から佐久に、藍玉の商いに来ていました。香坂越えで厳冬期道に迷い遭難しそうになった時には、地元民に命を救われます。

栄一が佐久に来るたびに立ち寄った木内芳軒は、佐久郡下県村（現伴野）に住む漢学と剣道の塾主でした。栄一は、漢学の教えを受け、尊皇攘夷思想の影響を受けることになりました。また、芳軒に従兄の長七郎を匿ってもらい、命を守ってもらいました。後にその長七郎が栄一を救うことになり、栄一にとっても芳軒は命の恩人となります。栄一が佐久に残したいいくつかの漢詩の中の、内山峽の詩に「勢は青天を衝き、臂を攘って躋り」の一節があります。若き日の栄一たちの気概を感じます。栄一の気概あふれる青年時代に佐久で出会った大勢の人々、懐かしい風景、これらのことから、栄一は佐久を第二の故郷と言ったと推察されます。



上原先生は、渋沢栄一の人生を振り返ると、世直しに向かう思想形成・実践前夜が佐久に来た時代であったと思います。とても大切な時期を、佐久の温かい人々や恩師や豊かな自然に触れ自己を形成していったと考えられるとまとめられました。栄一が良い世の中にしていこうと理想に燃えていたことが分かりました。

上原先生には、良く通る声で、自分の足で歩いて発見した資料をもとに渋沢栄一と佐久とのかわりを説明して頂き、渋沢栄一や佐久のことを知る、充実した時間になりました。

160年前の佐久地方の産業や文化が分かりました。

渋沢栄一に佐久が第二の故郷と言ってもらい、もっと佐久が好きになりました。

良く通る声と分かりやすいお話で、楽しく聞かせて頂きました。

感想より

参加者募集のお知らせ

8、9月開催の東公民館主催の講座です。参加者を募集しますので参加してみませんか。(※いずれも事前申し込みが必要です。☎67-2545)

①歴史講座 ～香坂山遺跡に日本最古の石器づくりを学ぶ～

- *日 時 8月30日(月) 午前9時00分～12時
- *場 所 香坂山遺跡 文化財事務所
- *講 師 明治大学黒曜石研究センター職員 須藤 隆司先生
- *参加費 100円
- *持ち物 筆記用具、飲み物、帽子 *定員 18名
- *申込受付開始 8月4日(水) 8:30

★ 香坂山遺跡を見学し、その後文化財事務所では講義を受け、旧石器時代の石刃石器を見学します。詳細については、参加者に後日送付します。

②東地区を知る ～英多神社の歴史～

- *日 時 9月19日(日) 午後1時30分～3時30分
- *場 所 英多神社社務所
- *講 師 元総代長 青木 寛一先生 *参加費 100円
- *持ち物 筆記用具 飲み物 *定員 15名
- *申込受付開始 8月24日(火) 8:30

★ 安原地区の英多神社の歴史について学びます。

*****公民館の近況など*****



入道雲がわきあがり、梅雨明けが近そうですね。東公民館の工事も着々と進み、大きな外観ができあがってきました。

新しい建物は気持ちが良いです。いろいろな会議に、集まりに、学習グループにと、たくさんの皆さんに利用してもらいたいと思います。

